

## 令和2年度 第8期第1回 二見地区地域審議会会議概要

- 1 開催日時 令和2年11月26日(木) 午後7時00分～午後8時15分
- 2 開催場所 二見生涯学習センター1階 ホール
- 3 議事内容
  - ① 正副会長の選出について
  - ② これまでの主要な施策及び現在の取組等について
  - ③ 市長への提言について
  - ④ 今後の予定について
  - ⑤ その他
- 4 出席委員 松本徳男委員、山本貞夫委員、濱口憲敏委員、松本誠委員、奥野雅則委員、橋本清美委員、北井伸治委員、酒徳孝委員、加藤正彦委員、松原孝次委員、松本昌純委員、中村恒委員、北村峯記委員、田岡光生委員
- 5 欠席委員 濱條幸久委員
- 6 出席職員 環境生活部参事  
二見総合支所長、生活福祉課課長補佐兼地域振興係長
- 7 傍聴人 0名
- 8 議事概要
  - あいさつ  
二見総合支所長  
この審議会は、4月1日から第8期を迎えることとなった。当初は合併後10年間の設置予定が、東日本大震災に伴う合併特例債発行期限に合わせて5年間延長された。それも今年度末で終わりとなる。  
各委員は4月1日付で委嘱され、本来なら委嘱状を手交すべきところ、コロナ禍で郵送することとなった。残る5ヶ月、よろしく願いたい。
  - 自己紹介  
出席委員 新任委員がいるため、順に自己紹介
  - 会議の成立  
事務局 本日の出席委員は14名であり、委員の過半数の出席があることから、本会議が成立していること、公開であることを報告。

① 会長及び副会長の選出について

事務局 「地域審議会を設置することに関する協議」の規定により、会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定められている。委員の方々に協議をお願いしたい。

委員 事務局に案があれば、提案願いたい。

事務局 事務局案として、会長には先に会長を務めていただいた松本昌純委員を、副会長に北井伸治委員をお願いしてはどうか。

(拍手多数により承認)

② これまでの主要な施策及び現在の取組等について

○ 資料説明

環境生活部参事

平成28年に実施した市町村合併の検証では、約8割の市民が「今後も新伊勢市に住み続けたい」と回答しており、合併の成果があったのでは、と捉えている。

合併当初1,811あった調整項目も、現在は「市民憲章」と「市の花・木」のみとなり、今年度の市民アンケートで意見を聴くこととしている。

(以後、事前配布資料1「市町村合併後の主な取組」、2「第3次伊勢市総合計画」、3「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容について説明。)

【質問・意見】

- 資料2「第3次伊勢市総合計画」の92ページでは、平成28年度の漁業就業者数が704名となっているが、現在は伊勢市全体で501名に減少している。海環境悪化が最大の要因。漁業者の実数も減っている。二見では組合員数は122名いるが、その内正組合員は44名と少ない。伊勢市全体でも正組合員は62名で、439名はほとんど海に出ない準組合員である。漁業協同組合は今年から負担金を徴収することとしており、そうなればますます組合員の減少を招くことが懸念される。市として、現状への対応を早急に行わなければ、漁業は立ち行かなくなるのではないか。

→窮状は理解した。厳しい現状も認識しているので、農林水産課へ伝える。

- 資料3「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の20ページ⑥「Society5.0の実現に向けた技術の活用」に「ICTやデータを最大限に活用して…」とあるが、これは既存事業へのこ入れを意味するのか、それとも新たに着手しようとしているのか。

→「第4次産業革命」と表現される技術革新に対応した業務の導入を図り、業務の省力化、市民の利便性向上を目指す。現在は保育所やゴミ出し、防災面等で徐々に導入されている。

- 資料3「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」中、「現状値」「目標値」という用語が出てくるが、「目標値」の根拠は何か。  
→根拠は到達可能な数値を示している。類似項目は過去5年の実績をベースに、新規項目はある程度、理想も含んでいる。
- 資料2「第3次伊勢市総合計画」の13ページ、人口減少に関して、少子化と高齢化は分けて考えなければいけない。出生率に一喜一憂せず、同じ人口を維持するのがいかに難しいかという危機感が見られない。一方、団塊の世代が高齢期に達して高齢人口が増え、今後緩やかに減少する事態を認識する必要がある。端的に言えば生まれる命より死ぬ命の方がはるかに多いということ。その視点が弱いように感じる。関連する資料3「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の15ページにあるワーク・ライフ・バランスには、単に働き方改革にとどまらず、もっと女性の登用や女性の視点といったものを盛り込んでほしい。  
→来年度、次期総合計画基本計画の策定作業を行うので、いただいた意見については、担当課へ伝える。
- 資料3「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の21ページ「(2) P D C Aサイクルによる推進」の検証結果は、広報等を使い市民に知らせてほしい。  
→現在、議会へは専用シートを用いて報告している。内容はホームページで公表していると思うが、担当課に確認してみる。
- これからのまちづくりは従来の行政主導ではなく、市民が主体的に参加するものにしなければならない。行政は主体的に関わろうとする市民の代弁者であるべき。市民、行政、企業等が一体となってまちづくりを行う姿が理想である。  
→本日いただいた意見は、専門外の部分もあるので、関係課と情報を共有することとしたい。
- 資料3「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の22ページ「SDGs」に関して、先日の新聞に宇治山田商業高等学校がインターネットによる遠隔授業やビデオ会議を行ったとあるが、これは伊勢市が関与したものか。  
→詳細は把握していないが、宇治山田商業高等学校が独自に行ったと認識している。同校はSDGsに積極的に取り組んでおり、市との連携事業も複数ある。

### ③ 市長への提言について

#### ○ 提案説明

事務局 さきほど説明があったように、合併後15年を経て様々な施策が展開された。それ等を踏まえ、当審議会としてこれまでの評価や課題、今後の市政への要望等を提言書としてまとめてはどうか。ちなみに、小俣地区地域審議会は既に提言書を提出。御園地区地域審議会も一昨日、作成することを決定した。

#### 【質問・意見】

- 審議会委員だけでゼロから作るのか。

→委員から意見を募り、それを事務局がまとめるという形をとりたい。

●期限はいつまでか。

→後ほど日程を説明するが、1月中には叩き台を作成したい。

●各委員からの意見があれば、提言を行うということで良いのでは。

●これまでは諮問に対して意見を述べるだけだった。各地区にも抱える問題があるのではないか。

●行政に対して物申すだけではなく、住民として感じるものを提言に入れても良いのでは。

●出す出さないということであれば、出した方が良い。各地域それぞれ意見や課題があると思う。

→提言書を出す方向で調整する。

④ 今後の予定について

○ 日程説明

事務局 提言書作成の日程として、12月中に意見を募集、1月初旬に叩き台を作成し中旬に委員へ提示、下旬に審議会を開催して承認を得た上で会長、副会長から市長へ提出したい。

⑤ その他

●光の街の安養寺跡地について、平成4年の宅地開発時に旧二見町と開発業者の間で恒久的な施設を建設するという約束を交わした。あれから20数年経っているが、どうなっているか。

→関係委員から説明。令和5年の小中学校移転に合わせて公園施設を建設することで関係者間で調整中。

●駅前ビルについて、現在の状況を説明してほしい。

→事務局が把握している範囲で説明。

●二見は伊勢市の中でも特色のある町。良い提言書ができるよう、皆さんの意見をお待ちしている。

以上